



通巻133号
安曇野市豊科郷土博物館友の会
令和7年2月15日発行



「展示室で見つけた郷土博のタカラ」

友の会副会長 加藏 友美

1年近く前の事になるのですが、豊科郷土博物館だからこそその出会いだと感じられた思い出を書きます。

郷土史部の古文書講座を終えて、企画展『はくせい動物園』の展示室へ入りました。展示を見ていると、室内にいた男の子から、「間違っているかもしれないところを見つけたのだけど…」と、声をかけられました。男の子は小学1年生で、N君と言いました。

「私も見てみたいから教えてくれる？」と頼むと、解説パネルの前まで連れて行ってくれました。

「どこか教えようか？」とワクワクした顔で私に聞くN君。

「探してみたいからちょっと待ってね。」と言う私の横で、答えを言いたくてしょうがない様子で待っているN君。

この状況では集中して読めずに、10秒でギブアップ。

N君「あのね、“ほちちるい”は、“ほにゅうるい”の間違いなんじゃないかと思うんだ。」

哺乳類のふりがなが、“ほちちるい”になっていたのです。

私「すごい！よく気が付いたね！きっとN君が正しいから、博物館の人に教えてあげたらどうかな？」

N君は1階窓口へ行き、しっかりと伝えました。原館長や職員さん、大勢がN君の気づきにお礼を言い、発見を褒めました。

初対面の大人に堂々と話すN君の利発さと、何よりも人懐こさに嬉しくなりました。これがもし郷土博でなかったらどうでしょう？例えば大きな博物館だったら？N君が発見を館長に直接伝えるハードルが高くなってしまいうように思えるのです。

人との出会い、そこから生まれるつながりこそが、郷土博物館の最大のタカラだと思っています。

これからもN君はあちこちの博物館で、ひょっとして誤植があるかな？と探しながら、熱心に展示を見て学んで行くのだろうと、微笑ましく思い出される出来事でした。



「憧れの安曇野」

博物館職員 岩越 智子

友の会会員の皆様、いつも博物館の活動にご協力いただきありがとうございます。今年度より博物館庶務担当となりました岩越と申します。

私は生まれも育ちも愛知県名古屋で、旅以外では地元を出たことはありませんでした。安曇野は数年前に



旅先の一つとして初めて訪れましたが、名だたる山々が連なる迫力と穏やかな田園風景の調和、何より心地よい空気感がとても好きになり、深く印象に残ったまま忘れられない場所になりました。そして「いつか安曇野で暮らしてみたい！」という憧れのような思いが芽生え、ついに実現することができました。

このひらめきのような感覚で引っ越ししてきたものの、安曇野のことを知るにはどうしたらいいのかな？と思っていたところ、このたび博物館で働くことになり、歴史や民俗、自然について見たり聞いたり体験したり…様々な出会いを通して地域のことを徐々に知ることができました。そして博物館友の会は、まずたくさんの部会があることに驚きましたが、会員の皆様の活動や発表を拝見していると、さらに深く安曇野のこと、そして皆様の郷土愛を感じる事ができ、もっと知りたくなりました。こうして安曇野を知れば知るほど故郷である名古屋はどうだったろうかとあまり知らなかったこと、知ろうとしなかったことに気づき、今さらながら興味をもち始めました。皆様の活動をお手伝いさせていただくことで安曇野の更なる魅力を発見できたら、そしてもっと暮らしを楽しめたらいいなと思っております。

皆様からもいろいろ教えていただけると嬉しいです。今後とも宜しく願いいたします。

令和6年度春季企画展が始まります！

食卓の風景 食と家族の80年

令和7年2月22日(土)～5月18日(日)



【こたつを囲んで(昭和48年)】

<関連イベント>

◆講演会「韓国の食べ物って辛いのか？－日韓文化比較－」

講師：倉石あつ子さん(元跡見学園女子大学教授)

3/23(日) 10:00～11:30 豊科公民館2階大会議室

参加費 100円 定員 40名(先着順)

申込 2/22(土)より電話で

◆ワークショップ

安曇野の豊かな粉食文化より ぶっこみうどんとえご

5/11(日) 9:30～13:00 三郷公民館調理実習室

参加費 350円 定員 20名(先着順)

申込 4/12(土)より電話で

◆ギャラリートークと食体験 3/9(日)・4/13(日)

①昔のカレーと現在のカレーの食べ比べ

3/9(日) ①10:00～ ②14:00～

参加費 無料(要入館料) 定員 各回20名(先着順)

申込 2/8(土)より電話で

②うちのうす焼き

4/13(日) ①10:00～ ②14:00～

参加費 無料(要入館料) 定員 各回20名(先着順)

申込 3/15(土)より電話で

*詳細は、広報やチラシをご覧ください。

また、展示室奥にある南階段に昇降機を設置しましたので

ご利用ください。【安曇野市豊科郷土博物館 Tel. 0263-72-5672】

友の会活動

友の会 展覧会

1月11日(土)～2月2日(日)

第70回新春書芸展

【市民タイムス 2025.1.16 より】



友の会書道部の力作が並ぶ新春書芸展



書芸展と同時に展示された県宝の土器や土偶

新春にちなんだ詩や故事等、真心のこもった書二十六点が出品されました。一月十六日にはギャラリートークも行われ、千野秀濤さんのお話を皆さん聞きながら、真剣に聞いておられました。

安曇野市の豊科郷土博物館で2月2日まで、同館友の会書道部の「新春書芸展」が開かれていて、部員ら14人が、新春にちなんだ計26点を出展した。田湖舟さん、豊科南穂

郷土博物館 友の会員展 新春らしい書ずらり

中国の漢詩や故事を好む仲間たちの新春らしい作品を、楽しんで見たい」と来場を呼び掛ける。16日午後1時半～2時半、指導に当たる書家・千野秀濤さんのギャラリートークがある。会期に合わせ、同

市で発掘された県宝の縄文土器や土偶計5点(いずれも穂高郷土資料館所蔵)も展示している。午前9時～午後5時で、月曜休館。入館料は100円(中学生以下と市内在住の70歳以上無料)。問い合わせは同博物館(☎026

今後の友の会展覧会予定

第41回山草・サクラソウ展

5月3日(土)～5月5日(月)

丹精込めて育てられた山野草・サクラソウが毎年100鉢近く展示されます。是非ご観覧ください。

5月31日(土)～6月22日(日)

第39回写真展

一瞬の表情をとらえたフォト。どんな瞬間が展示されるのか、今から楽しみです!

第20回ボタニカルアート展

植物学的に、特徴などを正確に、しかも美しく魅力的に描かれた『植物学的な芸術』を友の会会員の皆さんもお楽しみください。

植物調査部 「人類滅亡後も、どこかの知的生命体に託したいものです」

部長 新倉 美智子

去年の夏、ある県立大学に寄贈された植物の標本一万点が誤廃棄された、という信じがたい記事を目にしました。40年かけて集めた貴重なさく葉標本が、処分した人には、古新聞に挟まれた大量の変色した草、にしか見えなかったようです。さて、ここ豊科郷土博物館にも、古いさく葉標本があります。合併前の村や町からやってきた、あまり保存状態に恵まれなかった、100年前からの標本です。でも、これらが捨てられることは、ありません。幸運な標本たちは、植物専門の学芸員である松田さんに巡り合い、彼女の監修のもと、カビ取りなどの修復作業を施され、大切に記録、保存が行われています。これらの標本からは、色々な情報が伝わってきます。例えば、1938年に明盛村で採集されたカザグルマの美しい花は、今はもう、ほぼ見ることができません。セイヨウタンポポは、1931年に宮淵で、1957年に島々谷で採集されています。町から次第に地方に広がっていくのが感じられます。1950年に北穂高で採集されたスズサイコは、今でも変わらず、同じ場所で見ることができます。

200年、300年と伝えていきたい、貴重な標本たちは、良い標本庫に入りたいそうです。

タカラさがし部 「眼、輝き 舌、喜ぶ」 部長 千村 裕一

「見つける喜び」体験は確実な財産です。子どもたちに限ったことでなく保護者の皆さん、スタッフも財産となります。9月に北アルプス牧場で乳牛と出会い、「牛さん初めて」「大きい」「かわいい」と、大人の皆さんも大興奮でした。学校給食やスーパーに並ぶ牛乳がぐっと近い存在になり、普段何気なく飲んでいる牛乳の印象が変わったのではないのでしょうか。10月はリンゴ狩りに出かけました。黒沢川扇状地に広がるリンゴ畑標高720mの小林農園でシナノスイートの収穫体験をしました。「木になっているリンゴを初めて見た」「リンゴ狩り初めて」とリンゴ栽培の工夫や楽しみを実感しました。ご厚意により試食させていただいた山盛りのリンゴも瞬く間に食べ尽くし、何度もおかわりをお願いしました。リンゴを頬張る子どもたちに向けた園主 小林さんの笑顔が印象的でした。今年度は眼が輝き、舌が喜ぶ活動ができ、うれしく思います。今後たくさんの方のタカラを探していきたいと思ひます。



令和7年度 博物館企画展の予定

- ◆令和7年度 夏季企画展 「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」
- ◆令和7年度 春季企画展 「安曇野の観光事始め」(仮)

今年度の友の会活動へのご協力、どうもありがとうございました。来年度も引き続き、ご入会を希望される方は改めて会費をお納めください。令和7年度の会員証を発行いたします。タカラさがし部については、4月に小学校を通じて募集のお知らせをします。友の会会報は博物館のホームページで、カラーで見ることができます。是非ご覧ください。